

■西小学校区 第1回きずなづくりトークの意見概要と方向性

テーマ「子どもの健全育成と高齢者が安心できる地域づくりについて」(※●は市長発言)

7月1日 西地区コミュニティ防災センター

発言者	現況・課題	対応策・要望
◆第1部「地域座談会」		
◇高齢者の問題について		
三好町自治会	<p>○9月には流しそうめん大会を若い人が中心になり、子どもと年寄りを招待して実施。他にはボーリング大会など企画。</p> <p>○問題は、出てくる年寄り、ほとんど同じということ。声をかけても私はいいと出てこない。出てこない年寄りをどういう風に参加させるか模索している。</p>	<p>○三世代のふれあいを重視しようということで、今年は活動を広げていく。</p>
栄町自治会	<p>○昨年度の町内の75歳以上は270人。この3割の高齢者をどういう風にしていくかが町内の運営にかかわってくる。</p> <p>○民生委員と連絡をとり、民生委員の把握している範囲と、自治会への申請があったものとドッキングを考えている。要援護者の支援方法をどのようにしていくか現在検討中。</p>	<p>○今年当番町なので、老人に活躍してもらおう為、参加を促したい。</p> <p>○これからの祭り後の直礼(なおり)は、栄町公園でテントを張って筵をひいて、昼間から皆でやろうと考えている。老いも若きも出ないと意味がない。そんな中で、老人と子どもを引き出そうと考えている。</p>
本町大中島自治会	<p>○大中島は民生委員が3名で3町を見る。民生委員は災害時、大事な役を受け持っているのに、よその町内の方が2人いる現状は大問題。</p> <p>○今年度の要援護者リストは9月以降でないと出来ないと言った。前のリストは100%でなかった。わかることから伺って、災害時にどういう形をとったらいいか何人かに話をし、了解を頂いている。</p>	<p>○民生委員と協力は出来ない。大中島民生委員は熱心にやってくれているが、あと二人は他の町内の方だから、災害時自分の町内を優先的にやらなければならない。よその町内の面倒をみることは難しいということになる。</p>
民生委員	<p>○町内が入り組んでいて、4・5月の調査時、南本町の依頼も加わっていたが、町が違うことは考えずに回った。市役所の配慮だと思う。1人でも見逃さないように努力している。</p> <p>○先日、クロネコヤマトの自転車で配達している女性が、メール便がたまっている家があると知らせてくれた。新聞配達、</p>	

	牛乳配達、郵便配達は市との協力があると思うが、ヤマトの方も知らせてくれた。	
	◇防災訓練と高齢者の関わりについて	
広小路町 自治会	<p>○広小路は完全な木造家屋、人口密集地域で、高齢者が非常に多い。いざ災害となったときにどれだけ安全を保てるかが問題になる。特に高齢者が問題。</p> <p>○西部地区自治会連合会では過去 35 年くらい防災訓練を一緒にやってきているが、従来とは違った形で防災訓練を行わないといけないということで、10月の防災訓練の日に向けて自治会長や、市の危機管理課と相談しながら進めている。</p>	○今年は特に避難所の運営方法を重視したい。従来の三島市の訓練では、市の指導で各自治会単位に行っているが、一つの自治会で避難所の運営をするわけではない。西小学校区、西部地区の自治会連合会プラス本町大中島、本町小中島が入る。それら12・3の自治会で一つの避難所の管理運営ということを考えなくてはならない。
西若町自治会	<p>○三島の場合は津波の心配はほとんどないが、家屋の倒壊と火災が起きることが懸念されている。町内には古い家がたくさんあり 75 歳以上の高齢者が 100 人強。70 歳以上で 150 人、65 歳以上だと 200 人を超す。1人住まいの方も大勢いる。</p> <p>○西若西友クラブ（老人会）があるが、60 歳以上の入会資格で会員約 60 名。4人に1人しか入っていない。普段から高齢者同士のきずなが、どこまで取れているのか懸念される。災害時にどの様に確認を進めていくのか今後の課題だと思う。</p>	○日頃からどのようなコミュニケーションがとれているかが防災活動に役立つということだと思う（ファシリテーター）
女性懇話会	○母を 25 年間介護してきた。寝たきり老人の把握がどれ位できているのか疑問。老人を抱えて生活する上で切実な問題。	
	◇コミュニケーションの場・機会について	
泉町自治会	○泉町も 75 歳以上が非常に多い。集まって何かしようにも、防災会館の上に自治会の会場があるが、高い所に年寄りには上がれない。元気な人は河辺に来てカモや動物を見るなど、出てくるよう話し合いをしているが、なかなか全員は集められない。	○お祭りを利用して出来るだけ多くの人に参加してもらおうと声かけをしている。難しい問題なので皆さんの意見を聞いて進めていきたい。
加屋町自治会	○町内 200 世帯しかないが、昨年 75 歳以上が 108 名。同居はまだ安心だが、年寄り	○現状にはすぐには間に合わないが、これからの高齢者が、安心

	<p>夫婦だけのところが結構ある。防災に関して頭が痛いところ。</p> <p>○高齢者が外出しなくなってしまったのは、井戸端会議の場所、座り込んでおしゃべりする場所がなくなっていることが一番の問題だと思う。高齢者とコミュニケーションをとるには、まず、そのことを考えたらどうかと思う。</p>	<p>出来る地域づくりをどうしたらいいか考えたい。</p>
	◇3世代のふれあい活動について	
西小学校	<p>○子どもが1人で遅くに歩いている等連絡を頂いたり、色々なところで声をかけてもらい、見守ってもらっている感覚がある。先日、交通安全を語る会に保護者に来てもらった。学校のほうに足を向けてくださる方とは、色々接触がある。</p>	<p>○子どもたちが地域に入って、どの様にしたら3世代交流がうまくいくのか考えていた。西小には提供室があり、ヨガなど活動している方々とも接触できる。どんな風に付き合ったら子どもも元気になり、地域の方々も元気になるのか考えてみたい。</p>
西小学校 PTA	<p>○今朝、小学1年の子が知らない人に道を尋ねられたという。困っている人がいたら「親切にしてください」と言うが、知らない人に声をかけられたら「気をつけなさい」とも言う。親としてどういう風に教えていったら良いのか難しい。「車には乗るな」と言うくらいしか言えない。</p> <p>○子どものころはソフトボール大会や、キックベース大会があったりして、地域を挙げて大人も子どもも本気になって行っていた。今の地域の状況はちょっとさびしいと感じる。</p>	<p>○地域で3世代がうまくかわりを持てることが仕掛けられないかと思う。</p>
スポーツ 推進委員	<p>○以前は西小学校区連絡協議会があったが、今は子どもが減少し、体育振興会が中心になりドッジボール大会を実施。男女混合で学年も3つにまとめて行っている。10月には運動会で3世代リレーを行っている。そんな形で子どもの健全育成を行っている。</p>	
体育振興会	<p>○テーマが難しい。いつ頃から子どもを、こんなにきめ細やかに見るようになったのか。昔はこうではなかった。今は子ども</p>	

	もを手取り足取り、面倒を見なければならぬ。社会情勢もあると思う。	
エコリーダー	○自治会の年間行事で子どもたちはしゃぎの練習、祭り、運動会、防災訓練などがあるが、中高生で交流が途切れる。防災訓練にぜひ参加してもらいたい部活の為、なかなか参加してもらえない。実際に何か起こったとき、東日本大震災の時にも中高生がすごく活躍している。	○普段から西地区の行事に中高生がもっと参加して、大人と交流を深めていけるような方策をとっていただけたらと思う。
南中学校	○中学ではシニアのスポーツクラブへの参加が多くなり、部活動離れが進んでいる。また9月は秋の大会で部活動の子どもたちは、そちらに全力を傾けるので、なかなか子どもたちは防災訓練に参加出来ない。12月だったらまだ子どもたちに、多く参加を呼びかけることができる。 ○中学生を取り巻く状況というのは、地域から遊離した部分が、非常に多いと思う。年齢的にも精神的発達にしてもそういう年齢だと思う。 ○南中ではMLS (Minami Life Support) 活動を進めてもらっている。南中の子どもたちの生活をサポートしていく地域の組織で、保護司や民生委員の方々も共感をもって参加してくれている。ジャージを着ているので、子どもたちもあいさつするようになってきた。 ○南中のキラリー斉清掃活動や、南中オヤジの会を組織するなど、少しずつ親子のきずなづくりが形をとり始めたと思う。まだ中学生の参加は少ないが、通学路の清掃を親子で行っている。	○多くの中学生が防災訓練に参加しやすいよう、12月の最初の日曜日が地域防災訓練の日になっているので、その日の実施に向けて準備して欲しい。 ○一度に3世代交流は難しいと思う。まず親子の関係、保護者である40前後の方々と60前後の方々の関係等2世代のつながりを作っていくほうが具体化できるのでは。
広小路町 自治会	○防災訓練を地域防災の日にやれば中学生も参加できるという話をはじめ聞いた。従来から「中高生を地域の防災訓練に参加させてください」とお願いしていても、どういう日なら参加出来るという話を聞いたことがなかった。	○西部地区の防災訓練は、今年は10/27ともう決まっている。たぶん全市一斉にすることは出来ない。一斉にやったら水消火器や機材を借りられない。現状は防災訓練に使う資材を他が使っていない時に、訓練日を設定する

		<p>ことになっている。校長先生の話を参考に、自治会連合会で来年度の日の設定を考えたい。</p>
◆第2部「市長との意見交換会」		
市長	<ul style="list-style-type: none"> ●高齢者がどこで1人暮らししているかわからないという声があり、障害者を含め2800人の要援護者台帳を作成した。 ●若松町で今年の5月コミュニティカフェを開設した。集会所を建て替えて70歳前後の方が、週3回ほど来てお茶や、囲碁・将棋をしたりと大変好評。補助金制度を作ったが、予算オーバーで締め切った。 ●この地区は何より大火が心配。6/27に県から第4次避難想定が出された。三島は津波の心配はほとんどなく、震度的には第3次避難想定より軽くなり、少し安心できると思うが、油断しないように。 ●火災対策、災害弱者をどう助けるか、避難所生活をどう円満に行うか等が大きな課題。「自らの命は自ら守る」ということで自宅の耐震化と、町内で助け合っていくことを考えていかななくてはならない。 ●阪神淡路のときは8m以下の道路はすべて通れなくなった。消防車、救急車はあてにならない。救出には相当時間がかかる。建物の下敷きになった人を助け出すのは自主防災会だと覚悟して欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ●6/17に国会で災害対策基本法が改正し、災害弱者、要援護者の名簿を市が作成することになった。災害時には個人保護法の枠をはずし、自治会長、自主防災会長、民生委員に、了解してくれた人の名簿を公開して良いという法律が出来た。改めて名簿を作成していこうと思う。 ●9/1は「防災の日」で、地震予知ができた想定の実験、12月第一日曜日は「地域防災の日」で、突発的震災の実験である。市内で「地域防災の日」に訓練を実施する地域は少なく、長伏と一部の町内という状況だが、その日に訓練を行えば中学生、高校生の参加も見込めると思うので、検討して欲しい。
緑町自治会	<p>○子どもの健全育成は家庭教育が大事だと思う。自治会では年4回の交通安全週間の時に、横断歩道の誘導を行っている。子どもたちはこちらからあいさつしないとしてこない。学校でいくら言ってもなかなか声が出ない。</p> <p>○要援護者の支援者を決めているが、中学生高校生が手を上げてくれた。家庭でそういう教育をしているのではないか。</p>	<p>○防災組織の下部組織が組なので高齢者が多く、自主防災が出来ない。今年から組を3組4組集め、ブロック化を進めている。若い人を組織の責任者にして、防災組織の見直しを行っている</p> <p>●災害弱者に対する対応として素晴らしい。ぜひそれを全市的に広げていけたらいい。</p>
西小学校	<p>○子どもたちのベースは学校教育、家庭教育だと思うが、非常に難しい問題。保護者同士が安心して、語り合えない現状が</p>	<p>○子どもを通して家族の方に声をかけたり、学校にも知らせていただく、つながりができ、子</p>

	<p>あるので、そこを繋げることが出来たらお母さんが元気になるかと思う。家庭教育は母親（今は父子家庭も多い）が、踏ん張っていることが多い。保護者と顔なじみになっていく、「うちの子を褒めてくれてありがとう」、「しかってくれてありがとう」という関係になっていくと、うまくいくのかと思う。</p>	<p>子どもが安心して成長できるというのが実感。ぜひ協力をお願いしたい。</p> <p>●先々週、いじめ防止法が出来たが、いじめの問題もかなり家庭にあるのではと思う。社会生活をしていく上で、行事は大事だと伝えていくことを地域で考えなくてはいけない。その一つが子どもは地域の宝事業になる。</p>
南小MLS・おやじの会	<p>○朝、校区のゴミ拾いと子どもたちに声をかけている。最初のうちはやはり不審者のこともあり、あいさつを返していいのか戸惑いが子どもたちにあった。</p> <p>○名前を大きく書いた名札をつけている。子どもたちから挨拶を返してもらおう土壌作りは、自分がどこの誰か所属をはっきりさせること。子どもたちに安心感を与えるので、大きく世界が開けてくる。</p> <p>○この集まり自体、高齢者対策という向きが強いと思うが、地域には若くても障害を持っている方、保育施設、幼稚園、入院設備がある病院等もある。そういう方々も置き去りにしてはいけない。</p>	<p>○中間世代が前に出てくるようにおやじの会を立ち上げたので、どんどん子どもたちに声をかけていただいて、毎朝子どもたちの様子を見守っていただきたいと思う。</p>
栄町自治会	<p>○孫を学校に送り出すのに朝必ず道路に出て、どの子にも声かけをしている。自宅前であいさつしていると、自然とどのおじいちゃんだと向うから声をかけられるようになる。あいさつが広まる。</p> <p>○昭和33年狩野川台風が来たとき高校1年だった。その際理由も何もなく全校で手伝った。災害があった時には、お互いに助けあう、学校の教育の中でも機会があるごとに助け合うことを教えて欲しい。</p> <p>○むこう三軒両隣ということで、朝、自宅の新聞受けを見るついでに、ご近所の新聞受けも見れば、様子は把握できる。</p>	<p>●「むこう三軒両隣」そういう地域社会にしたいと思う。そのためにどうしたらいいかもっと議論していきたい。</p> <p>●ある中学で、子どもが学校にいるときに大地震にあったら親はどうしたいか保護者にアンケートをした。親が迎えに行くまで学校で預かって欲しいという意見だった。男の子たちは街中に出て、色々と手助けをしなくてはならないと思うが、今の中学生の親はそういう意識だと理解して欲しい。</p>
南町自治会	<p>○祖父母とのかかわりで孫が育つと本で読</p>	<p>○半分以上の280世帯が分譲マン</p>

	<p>んだ。しっかりした考えを持っている子は、祖父母のかかわりがしっかりしていて、社会への関心や、将来への夢をたくさんもっている。祖父母が子どもの成長に大変大きな役割をするという。</p>	<p>ションで交流がなかったが、民生委員の力添えで、詩吟、太極拳、輪投げ、カラオケ、囲碁将棋の会に、マンションの年配の方も参加し徐々に浸透してきた。活動場所は集会所。今後も一生懸命活動を広めたい。</p>
西本町町内会	<p>○名簿作りなどは、町内会、民生委員でも継続・更新しないと意味がない。毎年、要援護者リストは変化する。</p>	<p>○どこかで途切れてしまうことが重々考えられる。ぜひ継続していくようお願いしたい。</p>
寿町自治会	<p>○防災訓練を北中と南中が合同で12月に実施した場合、参加してくれるのか疑問。自主防災会の訓練に参加証明を求めるのはいいことだと思う。評価をもっとあげてもいいのではないかな。</p>	<p>○学校行事と同様に、地域行事にも出来る限り子どもを参加させ、また大人も出てきてくれるように学校からも伝えて欲しい。親にもっと頑張ってもらいたい。</p>
老人クラブ	<p>○西老連の会長になった。グラウンドゴルフ大会、芸能祭など行事をたくさんやっている。毎月一回道路の清掃を実施。老人同士は仲が良くて話し合いを頻繁に行っている。会議があるのはいいこと。 ○老人人口が多い地域だが、11町あるうちの7町しか老人会がない。</p>	<p>○老人会のない地域は全面的にバックアップするので、ぜひ復活させて欲しい。協力をお願いしたい。 ●老人会も子ども会もどんどん減り、地域力が低下している。様々な課題がある。</p>
子ども会	<p>○緑町では、子ども会への全員参加は難しい。しゃぎりをやっている子も限られている。もっと参加して欲しい。</p>	<p>●ほとんどの地区に子ども会があるのはたいしたもの。役員が嫌だから抜ける人も多いと思う。親同士の情報交換の場、お母さんたちが社会の仕組みを勉強するいい機会なので残念に思う。</p>
広小路町自治会	<p>○子ども会は三好町以外の町内にはある。三好町に子ども会はないが、しゃぎりはやっている。</p>	
市長	<p>●今日出た課題に関してはそれぞれの団体に持ち帰っていただき、さらに議論を深めて欲しい。ここで暮らしてよかったと思えるような地域作りをしていきたい。</p>	